

# 「楽しさ」を核に有用な機器を開発し、日本と世界の高齢者の健康寿命延伸を目指す

## 豊丸産業株式会社

パチンコ機器の開発・製造販売で業界をリードし、実績を積んできたのが豊丸産業。同社は今、高齢者の健康寿命延伸をテーマにした機器の開発で注目されている。パチンコで培った「楽しさの創造」で、福祉機器分野を新たな事業の柱に育てつつある。

名古屋はパチンコ発祥の地とされ、パチンコメーカーがひしめく。豊丸産業㈱もそのうちの1社であり、昭和35年(1960)に設立した。

創業時には、名古屋に同業者が約300社以上ありました。この業界では、ギャンブル性があまり高くなると警察の規制が入ります。業績が安定せずに廃業や事業転換する会社も多く、一時は19社ほどに減少しました。現在は36社です」(永野光容社長)

ポイントはどこにあったのか。

パチンコの機械は各メーカーと「玉をはじいて目指す穴に入れ」という基本は変わらない。どこで差がつくかと言えば要素は二つ。一つは、世の中の多様な技術に目を配り、これぞと思うものをパチンコに導入して、新たな装置に仕上げる応用力。もう一つは、ゲームとしていかに面白く、わくわくさせるアイデア力だ。

「当社は良い意味で『変態メーカー』と言われます。人がやらないようなこと、考えないようなことに挑戦した製品で、市場を獲得してきました」

同社開発の製品が、その後業界

浮き沈みの激しい業界にあって、同社は堅実・誠実な社風のもと、人気の製品を生み出して地位を固めてきた。同社の優れた開発力を生み出す



代表取締役社長  
永野光容氏

「たんぱち」シリーズがそうだ。

また、平成4年(1992)に業界で初めてパチンコ台に液晶ディスプレーを搭載したのも同社。業界における長年の信用と実績が、ゲームメーカー大手のコナミ(現・コナミデジタルエンタテインメント)との提携につながった。当時最先端のフルカラー液晶で、新たなエンターテインメント性をパチンコに加え、業界を活性化した。だが、近年はギャンブル志向の機械が増え、ファンの意識もそちらへ向かがちだ。同社はそうした中でも遊び心重視を貫きヒットを飛ばしているのだが、1店舗あたりの導入台数がギャンブル性の高い機種のようには多くない。

「パチンコ産業は将来もなくなることはないと思います。しかし、われわれがつくってきた遊び心重視のようには多くない。

の機械は、シェアを伸ばすのがなかなか厳しい状況です。新たな事業の開拓が必要だと思いました」

しかし、いきなり畠違いの事業をやるのは難しい。パチンコ技術の応用で何かできないか。

### トレーニングパチンコ 「トレバチ!」の開発で、 福祉業界に市場を開拓

注目したのが福祉業界だった。さまざまな施設に中古のパチンコ台が置かれており、どれもホコリをかぶっている。そこで、自社のパチンコを改造し、楽しみながら脳と体のトレーニングができる福祉専用機をつくると考えた。

機器も用意。

「福祉機器の展示会に出したところ好評で、徐々に導入していただける施設さまが出てきました」

これで自信をつけた同社は、さらに新製品として平成29年「トレバチ!テーブル」を発売した。これは大型食卓テーブルに42インチのタッチパネル液晶を搭載したもので、現在は11種類のアプリが付いている。頭脳や筋力のトレーニング、お年寄りと子どもが一緒に遊べる「トレバチ!」を楽しむお年寄り。ペダルを踏むト

楽しいで健康寿命に貢献する  
機器の提供によって、  
世界に貢献する



「トレバチ!テーブル」の本体(特許出願済)

そうして平成26年に完成したのが、高齢者向けトレーニングパチンコ「トレバチ!」だ。まず、玉が機械の外に出ない形にしてお年寄りの誤飲などを防ぎ、代わりに施設の各種サービスにも利用できるカーボーが出来るようにした。また、玉に特殊コーディングを施し、ガラスに当たつて出る騒音を大幅に軽減。発射球数も、通常は1分間100発だが、お年寄りが目で追えるよう、心臓の鼓動に近い70発にした。さらに、スロットマシン部の速度を可変式にし、本人の任意で抑せるようにして動体視力と反射神経の訓練を可能にした。加えて、自動車のペダルをこぐと玉が飛び付属機器も用意。

「福祉機器の展示会に出したところ好評で、徐々に導入していただける施設さまが出てきました」これで自信をつけた同社は、さらには新製品として平成29年「トレバチ!テーブル」を発売した。これは大型食卓テーブルに42インチのタッチパネル液晶を搭載したもので、現在は11種類のアプリが付いている。頭脳や筋力のトレーニング、お年寄りと子どもが一緒に遊べる「トレバチ!」を楽しむお年寄り。ペダルを踏むト

れーニングマシンと運動する」ともできる

「お年寄りと子どもが一緒に遊べる

平成31年4月には、健康寿命を

- 社長 永野光容氏
- 設立 昭和35年(1960)5月
- 資本金 50百万円
- 従業員数 229名
- 事業内容 パチンコ遊技機および福祉用娛樂機器の研究開発、製造および販売
- 所在地 〒453-0803 名古屋市中村区長戸井町3-12 TEL 052-452-8111 FAX 052-452-0354 URL <https://www.toyomaru.jp>
- 取引店 りそな銀行名古屋駅前支店

